

第 36 回オープントーナメントウエイト制 全日本空手道選手権大会

試合規定

- ① 試合時間
 - a 試合時間は（男女共）原則として1試合2分・延長戦は2分・体重判定・最終延長2分とする。
 - b 準決勝より本戦3分・延長戦2分・再延長戦2分・体重判定・最終延長2分とする。
- ② 防具
 - a ファールカップは必ず着用すること。
 - b 女子手足サポーターの着用はありません。
 - c 女子は胸部のみのチェストガードを必ず着用して下さい。
（硬質の物は不可。チェストガードは各自用意して下さい）
 - d 女子アンダーガードの着用は自由。
- ③ 勝者 a 一本勝ち・判定勝ち・相手の反則ないし失格による勝ちにより判定される。
- ④ 一本勝ち
 - a 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ちなどを瞬間的に決め、相手選手を3秒以上ダウンさせるか、戦意を喪失させた時には一本勝ちとする。
 - b 技あり2回で一本勝ちとする。
- ⑤ 技あり
 - a 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ちなどを決め、相手選手が一時的にダウンもしくは戦意喪失し3秒以内に立ち上がった時、又倒れはしないがバランスを崩した時、足掛け技を含めて、倒れた相手を下段突きで決めた時は、タイミングその他によって技ありとすることもある。（審判の判断による。）
- ⑥ 判定
 - a 一本勝ち、失格がない場合は、主審1名、副審4名の内、3名以上の審判の判定で決める。判定が定まらない場合は、延長戦2分を行う。
 - b 延長戦によっても決まらない時は、体重差（男子重量級 8 kg・男子中量級 5 kg・男子軽量級 3 kg・女子重量級 5 kg・女子軽量級 3 kg）以上を有効とし、体重の軽い選手を勝者とする。
ただし、準決勝戦以上は再延長戦まで行うこととする。
- ⑦ 反則
 - a 手技による首から上へ（首をふくむ）の攻撃
 - b 金的蹴り、頭突き、貫手による顔面・首への攻撃及び相手をつかんだとき。
 - c 倒れている相手に当てたり、蹴ったとき。
 - d 反則は悪質なものを除き注意が与えられ、注意2で減点1。減点2で失格となる。
 - e 相手に手掛けした場合ならびに掌底により相手を押す行為。
 - f 何度も場外へ逃げたとき、但しこれも審判の判定に委ねる。
 - g 審判判断により、特に悪質な試合態度と見なされたとき。
 - h 選手はいかなる事があっても、相手の道着をつかんではいけない。その判断は主審にまかせる。
 - i 注意を2回受けたとき。
 - j 故意による場外への遅延。
 - k かけ逃げ等、ワザと倒れた時。（例・自ら回し蹴りを蹴った後、倒れるなど。）
 - l 頭や胸などを故意に合わせてくる場合
 - m 以上のほか、審判員が特に反則と見なしたとき。
- ⑧ 失格
 - a 試合中、審判員の指示に従わないとき。
 - b 出場時刻に遅れたり、出場しないとき。
 - c 粗暴な振る舞い、悪質な試合態度と見なされたとき。
 - d 減点を2回重ねたとき。
 - e 応援態度が悪質で眼にあまるときは選手の減点もしくは、失格もあり得る。
 - f 判定に対する抗議は一切認めません。

申告体重と当日の体重差が各階級 指定体重内で男子軽量級、中量級は±3 kg以上、男子重量級は±5 kg以上、女子軽量級は±3 kg以上、女子重量級は±5 kg以上差がある場合は失格になります。